

# 7人制バドミントン

スポンジボールにバドミントンの羽根を付けた専用のシャトルを、短いシャフトのラケットで打ち合う、3人制のバドミントンです。打ち込み(スマッシュ)が禁止されているので、初めての人でもラリーを楽しむことができます。



## ◎ 用具

専用ラケット 6本  
専用シャトル 1本

## ◎ 場所

バドミントンダブルス用コート (13.4m×6.1m)  
支柱及びネットはバドミントン用を使用

## ◎ 人数

1チームを3人以上で構成し、参加者全員でローテーションする。(コート内は前衛1名、後衛2名の3名)

## ◎ 特徴

- \*バドミントンと同じ広さのコートに、前衛1名・後衛2名の3人で入るため、初めての人でもラリーが続きます。前衛と後衛はローテーションで変わります。
- \*ラケットのシャフトが短いため、手のひらで打つ感覚でシャトルが打てます。
- \*打ち込み(スマッシュ)は禁止、2打以内で相手コートに戻します。ただし、シャトルに触れるのは1人1回です。
- \*スポンジボールにバドミントンの羽根を付けているため、スピードが抑えられ、初心者でもラリーが続きます。
- \*得点は1セット15点で、3セット試合して2セットを先にとったチームが「勝ち」となります。

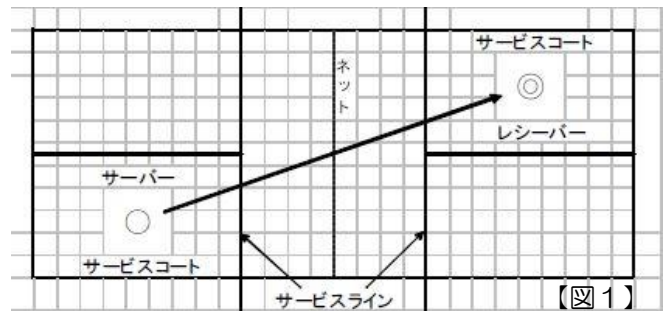
## ゲームの進め方

- ジャンケンをして勝った方が「サービス」をするか「コート」を取るかを決めます。
- コートに入るのは前衛1名と後衛2名の計3名です。

3. サーブは必ず下から打ちます。

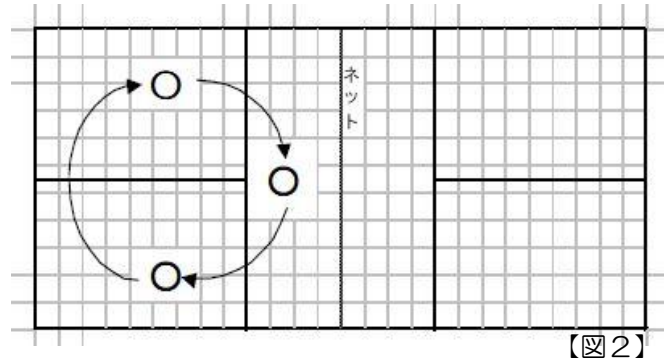
(シャトルが腰より下)

サーブをする人は3人のうち「後ろの右側」にいる人です。サーブを入れるところは相手コートの左側です。相手チームのサーブを受ける人は、「後ろ側の右側」にいる人です。【図1】



4. 相手チームのサーブの時に得点を取ったら、時計回りにローテーションをし、後ろの右側に来た人が次のサーブをします。【図2】

5. 1セット15点で、2セットを先に取った方が勝ちです。2セット目と3セット目は、前のセットの勝者がサービスをします。



6. 14点对14点になった時は、2点(16点)先取した方が勝ちになります。

- \*後衛はサービスラインより前には出てはいけません。ただし前衛はコート内のどこからでもプレーが可能です。
- \*シャトルは2回以内で相手コートへ返します。ただしシャトルに触れるのは1人1回です。
- \*プレーヤーの交代等は、各大会の要項等で自由に決められます。
- \*チェンジコートは各セットが終わった時に行います。ただし3セット目は一方のチームが8点取った時に行います。
- \*1セット15点、3セットマッチが基本となりますが、試合時間を8分とか10分と決めて、その時間内に多くの得点を取ったチームの勝ちにするなどの試合のやり方もできます。

《反則》

- フットフォルト…サーブの時、どちらかの足が床についていない時(ただし歩きながらのサーブは禁止)
- ラインクロス…サーバーがラインを踏んでサービスした時。後衛がサービスラインを踏むか踏み越えた時(サービスラインの延長上を含む)。前衛がセンターラインを踏むか踏み越えた時。後衛の身につけているものがサービスラインより前に落ちた時。
- オーバーネット…ラケットがネットを越えた時。ただしシャトルを打った後およびネットの下で打つときに越えるのはOK。
- オーバーウエスト…ラケットのヘッド及びストリングエリア(ガットの張ってある部分)がウエストラインまたはサービスする手の手首より上でサーブした時。
- 打ち込み(スマッシュ)…ラリー中、シャトルを打った瞬間シャトルが打点よりも下にさがった時。
- タッチネット…ラケット及び体がネットに触れた時。
- ドリブル…一人で連続してシャトルを打った時。
- ホールディング…シャトルをラケットに乗せて運んだ時。

- オーバータイムス…シャトルの返球が3回以上になった時。(返球は2回以内)
- 相手のコート内に体の一部が入った時。
- ラケットでシャトルが打たれなかった時。

反則ではありませんがシャトルがネット上を通過しなかった時（ボールの外側を通った時）、天井等にシャトルが当たった時も相手の点数になります。

「この内容については、日本ファミリーバドミントン協会の許諾を得て、転載しています。」